



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年10月28日

上場会社名 株式会社ソシオネクスト 上場取引所 東
 コード番号 6526 URL <https://www.socionext.com/jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長兼CEO (氏名) 肥塚 雅博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員常務 (氏名) 安藤 慎一 TEL 045 (568) 1111
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	82,767	-	10,456	-	12,295	-	10,013	-
2022年3月期第2四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 10,860百万円 (-%) 2022年3月期第2四半期 -100百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	297.42	-
2022年3月期第2四半期	-	-

- (注) 1. 2022年3月期第2四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年3月期第2四半期の数値及び2023年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は2022年9月30日において非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。
3. 2022年9月5日付で普通株式、A種種類株式及びB種種類株式それぞれ4株につき1株の割合で株式併合を行っております。また、2022年9月6日付で、株式取得請求権の行使により、A種種類株式及びB種種類株式の全てを取得し、A種種類株式1株につき普通株式1,346,666株、B種種類株式1株につき普通株式1株をそれぞれ対価として交付するとともに、A種種類株式及びB種種類株式の全てを消却いたしました。
- 当連結会計年度の期首に当該株式併合等が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	168,859	100,469	59.5
2022年3月期	118,428	89,609	75.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 100,457百万円 2022年3月期 89,597百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	-	-	0.00	0.00
2023年3月期	-	0.00	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	-	-	160.00	160.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	170,000	45.3	17,000	100.9	17,000	87.8	13,000	73.8	386.14

（注） 1. 2022年9月5日付で普通株式、A種種類株式及びB種種類株式それぞれ4株につき1株の割合で株式併合を行っております。また、2022年9月6日付で、株式取得請求権の行使により、A種種類株式及びB種種類株式の全てを取得し、A種種類株式1株につき普通株式1,346,666株、B種種類株式1株につき普通株式1株をそれぞれ対価として交付するとともに、A種種類株式及びB種種類株式の全てを消却いたしました。

当連結会計年度の期首に当該株式併合等が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	33,666,666株	2022年3月期	33,666,666株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	-株	2022年3月期	-株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	33,666,666株	2022年3月期2Q	33,666,666株

（注）2022年9月5日付で普通株式、A種種類株式及びB種種類株式それぞれ4株につき1株の割合で株式併合を行っております。また、2022年9月6日付で、株式取得請求権の行使により、A種種類株式及びB種種類株式の全てを取得し、A種種類株式1株につき普通株式1,346,666株、B種種類株式1株につき普通株式1株をそれぞれ対価として交付するとともに、A種種類株式及びB種種類株式の全てを消却いたしました。

前連結会計年度の期首に当該株式併合等が行われたと仮定して「期末発行済株式数」「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響継続や、ロシアによるウクライナ侵攻長期化等による食料やエネルギー等の価格高騰、米国や欧州を中心とした物価上昇への対策としての金利上昇等により、景気の減速が進んでおり、先行きに対する不透明感が増しております。また、各国、地域の金融政策の違いにより、急激かつ大幅な円安が進みました。

一方、当社グループの製造委託先において供給が追いつかない状況は、相対的に先端テクノロジーを中心に解消が進み、製造キャパシティの充足率の改善が進みました。

このような状況下において、当社グループは、5Gネットワーク、オートモーティブ、スマートデバイス向けの注力分野において、2019年度以降獲得した7nm以降の微細なプロセスを使用する商談の一部で開発が終了し量産段階に入ったこと、生産が想定よりも前倒しに進んだこと、加えて円安影響もあり、当第2四半期連結累計期間の製品売上は66,325百万円となりました。また、NRE売上についても、先端プロセスを使用した開発案件が増加したこともあり16,087百万円となり、当第2四半期連結累計期間の売上高は82,767百万円となりました。

利益については、当第2四半期連結累計期間の営業利益は10,456百万円、経常利益は12,295百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は10,013百万円となりました。

なお、当社グループは、ソリューションS o C事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

[売上高]	(単位：百万円)
	当第2四半期連結累計期間
製品	66,325
NRE	16,087
その他	355
売上高合計	82,767

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は135,434百万円となり、前連結会計年度末に比べ44,818百万円増加しました。これは主に、ウエハの供給が逼迫していることから顧客要望に基づく先行手配を行っていることで棚卸資産及び未収入金が増加しました。また、製品売上の拡大及びそれに伴う利益の計上により棚卸資産、売掛金、現預金等の営業循環にある資産が増加しました。固定資産は33,425百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,613百万円増加しました。これは主に、獲得した商談の製品開発に係るレチクルやIPマクロ等の取得に伴うものであります。

この結果、総資産は168,859百万円となり、前連結会計年度末に比べ50,431百万円増加しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は66,635百万円となり、前連結会計年度末に比べ39,194百万円増加しました。これは主に、顧客要望に基づく先行手配や、製品売上拡大に伴い、製造委託先からの購入金額増加による買掛金や、有償支給に係る負債及び未払金等の増加によるものであります。

この結果、負債合計は68,390百万円となり、前連結会計年度末に比べ39,571百万円増加しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は100,469百万円となり、前連結会計年度末から10,860百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加10,013百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末より6,701百万円増加し、52,972百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは14,953百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益12,295百万円、減価償却費5,032百万円、法人税等の支払額2,195百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは9,728百万円の支出となりました。これは主に、獲得した商談の製品開発に係る、レチクル、テストボード及び開発環境増設のための有形固定資産の取得による支出7,094百万円と、IPマクロ等の無形固定資産の取得による支出2,661百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは151百万円の支出となりました。これは、リース債務の返済によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年10月12日に公表いたしました「東京証券取引所プライム市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,271	52,972
売掛金	25,053	31,641
製品	1,488	2,074
仕掛品	14,921	27,496
未収入金	914	15,007
その他	1,969	6,244
流動資産合計	90,616	135,434
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,371	2,736
機械及び装置(純額)	11	11
工具、器具及び備品(純額)	8,159	12,550
土地	800	800
建設仮勘定	287	278
有形固定資産合計	11,628	16,375
無形固定資産		
技術資産	11,172	11,711
その他	1,076	1,011
無形固定資産合計	12,248	12,722
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
繰延税金資産	3,098	3,504
その他	838	824
投資その他の資産合計	3,936	4,328
固定資産合計	27,812	33,425
資産合計	118,428	168,859
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,609	30,226
未払金	2,054	12,128
未払費用	4,865	4,717
未払法人税等	2,609	3,080
有償支給に係る負債	-	13,294
その他	1,304	3,190
流動負債合計	27,441	66,635
固定負債		
資産除去債務	316	345
その他	1,062	1,410
固定負債合計	1,378	1,755
負債合計	28,819	68,390

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,200	30,200
資本剰余金	30,200	30,200
利益剰余金	28,867	38,880
株主資本合計	89,267	99,280
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	330	1,177
その他の包括利益累計額合計	330	1,177
新株予約権	12	12
純資産合計	89,609	100,469
負債純資産合計	118,428	168,859

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	82,767
売上原価	41,959
売上総利益	40,808
販売費及び一般管理費	30,352
営業利益	10,456
営業外収益	
為替差益	1,823
その他	30
営業外収益合計	1,853
営業外費用	
その他	14
営業外費用合計	14
経常利益	12,295
税金等調整前四半期純利益	12,295
法人税、住民税及び事業税	2,739
法人税等調整額	△457
法人税等合計	2,282
四半期純利益	10,013
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,013

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期純利益	10,013
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	847
その他の包括利益合計	847
四半期包括利益	10,860
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	10,860
非支配株主に係る四半期包括利益	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	12,295
減価償却費	5,032
受取利息及び受取配当金	△24
為替差損益(△は益)	△1
固定資産除却損	125
固定資産売却損益(△は益)	△15
売上債権の増減額(△は増加)	△4,802
棚卸資産の増減額(△は増加)	△13,156
仕入債務の増減額(△は減少)	11,214
その他の資産の増減額(△は増加)	△18,351
その他の負債の増減額(△は減少)	24,813
その他	△6
小計	17,124
利息及び配当金の受取額	24
法人税等の支払額	△2,195
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,953
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△7,094
無形固定資産の取得による支出	△2,661
固定資産の売却による収入	15
その他	12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,728
財務活動によるキャッシュ・フロー	
リース債務の返済による支出	△151
財務活動によるキャッシュ・フロー	△151
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,627
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,701
現金及び現金同等物の期首残高	46,271
現金及び現金同等物の四半期末残高	52,972

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の影響について、当社グループへの影響は、事業や地域によってその影響や程度が異なるものの、売上等への影響が限定的であることから、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りに関して、四半期連結財務諸表の見積りに大きな影響を与えるものではないと判断しております。

(セグメント情報)

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

当社グループは、ソリューションS o C事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。